

ならっ子だより

―奈良町って？―

平安時代、都が京都へ移った後も東大寺・興福寺・元興寺などのお寺が奈良の地に残り、お寺の門前には郷と呼ばれる「まち」がつくられました。平安時代の終わり頃、平氏が勢力を強め、奈良のまちは平重衡に攻められ大きな被害を受けます。その後、鎌倉時代になり、奈良のまちは幕府や朝廷の援助で復興します。

江戸時代に入り、郷を改め町の単位が整えられます。これら町全体が奈良町となり、徳川幕府の直轄地として奈良奉行が治めました。また、当時の奈良は名産である筆や墨、晒、酒などに代表される産業の町として発展しました。明治31年に奈良市が誕生します。現在の奈良町は旧市街地、江戸時代の奈良町の範囲にほぼ重なります。元興寺から東大寺にかけて、伝統的な町家や町並みが数多く残り、近年、奈良町には多くの観光客が訪れ、にぎわいを見せています。



奈良町の町並み

☎ 0742・24・8936
【問合せ】奈良町にぎわい課



学校紹介

三碓小学校の巻

本校は現在、奈良市で最も児童数の多い小学校です。休み時間には大勢の児童が運動場で仲良く遊んでいます。校名の「三碓」は、千二百年以上



も前に、聖武天皇がこの地に来られ、三つ連なったくぼみのある石を、米をつく石うす「碓」として使っていたところを見て、「三つのからうす」から、「みつがらす」と名づけられたと言われています。この言われとかかわりのある神社やお寺が校区内にあり、地域の人々の願いで、「三碓小学校」という名前で開校されたそうです。本校の総合的な学習の時間には、校名の由来や地域の特色を取り上げた探求学習「三碓学習」を行っています。なお、本校の放課後子ども教室は「碓っ子クラブ」という名前と呼ばれています。本校は、「学び合い高めあう児童の育成―明るく、かしこく、たくましく―」という学校教育目標のもと、学力や体力の向上とともに、「より良い児童のかわり合いをめざした取組を進めているところ」です。

☎ 0742・34・5386
【問合せ】教育政策課